

合格体験記

氏 名:

担任講師: 木下 蒼一郎

先生

在籍校舎: 西日暮里

校

進学先

中央大学附属高等学校

その他
合格校

*入試に役立った先生のアドバイス・勉強方法や、合格につながった体験・エピソード等を書いてください。

私は、第一志望校に合格出来た。もちろん、それは私が積み重ねてきた努力の賜物である。皆さんにも是非自分たちが見たい高校へ進学してほしいので、入試勉強でのアドバイスを二つさせて頂こうと思う。入試勉強に少しでも役立ったと思う。

一つ目は、過去問の活用だ。過去問は、志望校の入試でどれだけの点を取れるかを知り、合格への距離を測るためだけに解くのではない。自分の苦手な教科や分野を見極めることで自分の方針を重点的に学習すればいいのかを考え、勉強の計画を立てる時の基を知るために解くのだ。また、過去問は実戦的な入試勉強である。そのため、自分が解けない問題の形や解き方、単語・熟語など本番の入試に直接つながることも学べるのである。稲門学舎には様々な高校の過去問があった。私は塾から過去問を借りて、解き、分かった問題を一冊に問題文ごと写し、解き方を覚えた。そして二周、三周と繰り返し解き知識を深めていった。私は特に数学が苦手だったため、この方法を約三ヶ月間、計五校の過去問で行った。すると徐々に以前解き直した問題の解き方を用いる問題が増え、違う高校の問題にも対応できるようになった。ただ、高校によって解説が丁寧ではない場合がある。そんなときこそ、先生を頼るべきだ。私を担当してくださった木下先生はカラーペンや四角などを使って解説に載っていない、解き方の過程を示してくれた。稲門学舎の先生は快く訊いたことに答えてくれる。分からないことは遠慮せず訊くといい。

二つ目は入試に対する自分なりの学習ペースを掴

ことだ。私は入試三ヶ月前まで都立向けのい
 わゆる学習塾に入っていた。故に私立高校の
 問題の形式や仏式の知識がなく、苦手を数学
 が全く歯が立たない状態だった。だから、早
 く私立高校の問題にまず慣れようと、新聞私
 立の問題集を解き始めた。そこで仏式や、そ
 もそも私立高校の入試にはどんな問題がある
 のかを学んでいった。その後、先程の過去問
 による勉強を始めたのだが、もし最初の慣れ
 の学習がなかったらどうだったか。過去問を
 解いたところで、分かっていないことが多
 数あり、問題の解き方を学ぼうにも、その段階を踏む
 までとする難しさに感じ、モチベーションを失っ
 ていたがもし木下さん。今、自分に必要なこと
 を確かめて、順序を追いつつ慌てず学習を進
 めることに決めたのである。
 何にせよ、分かっていないことや悩むことがあ
 ったとき、隣に頼れる存在がいるというのは
 とても心強い。自分を支えてくれる人がいる
 ことに感謝を忘れず日々一歩ずつ歩んでいっ
 て欲しい。